



2026年8月14日

各 位

会社名 中外鉱業株式会社
代表者名 代表取締役社長 西元 丈夫
(コード番号 1491 東証スタンダード市場)
問合せ先 IRセンター室長 桜庭 勲
(TEL. 03-3201-1541)

2027年3月期第2四半期(中間期)業績予想の修正に関するお知らせ

2026年5月15日に公表いたしました2027年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想の修正(2026年4月1日～2026年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	142,800	680	620	340	23.62
今回修正予想(B)	146,000	260	200	10	0.70
増減額(B-A)	3,200	△420	△420	△330	
増減率(%)	2.2	△61.8	△67.7	△97.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2026年3月期第2四半期)	112,748	798	722	718	49.89

2. 修正の理由

当第1四半期連結累計期間の業績において、貴金属価格は、米国・イスラエルとイランの対立や、ホルムズ海峡を巡る中東情勢の不透明感に加え、ドル高・米利上げ観測の高まりが意識されたことから、荒い値動きを繰り返し、四半期末では大きく値を下げました。この影響により貴金属事業の業績は棚卸資産評価損2億91百万円を計上する等、低調に推移いたしました。

こうした状況から、上記のとおり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益が前回発表の予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、貴金属価格は、足下では中東情勢の緊張緩和が意識され始めたことや、各国中央銀行の準備資産としての需要の強さに加え、米国の政策金利の据え置きが決定されたこと等、徐々に下値を固める展開が見込まれることから、2026年5月15日公表の予想値を据え置くことといたします。

今後の業績動向などを見極め、修正の必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表時において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なることがあります。

以上